

県内中小企業(製造業)景況動向

平成27年1月3月期

依然マイナス域ではあるものの、総じて来期は回復傾向が窺える 本会調査結果概要

26年1月～3月



DI 平均値▲2.9

26年4月～6月



DI 平均値▲3.2

26年7月～9月



DI 平均値▲12.6

26年10月～12月



DI 平均値▲13.0

27年1月～3月



DI 平均値▲14.0

来期見通



DI 平均値▲7.3

業種別景況動向

食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲9.9	▲10.9	7.2	11.5

前年同期比の売上高DIは8.6、収益性DIは5.7で、両方を合わせたDI平均値は7.2となり「曇」模様になっている。来期見通しは4.3ポイント上昇して11.5となり「薄日」模様に転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲28.6、収益性DIは6.9となった。

また、雇用人員判断DIは「不足」、「過剰」とも22.6%で0.0、設備操業率DIは▲11.6、設備投資実施率は25.0%となった。

繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
▲11.0	▲30.3	▲28.0	▲17.3

前年同期比の売上高DIは▲16.0、収益性DIは▲40.0で、両方を合わせたDI平均値は▲28.0となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは10.7ポイント上昇して▲17.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲7.4、収益性DIは▲27.8となった。

また、雇用人員判断DIは16.7、設備操業率DIは▲10.0、設備投資実施率は3.8%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲14.0となり、前回調査(26年10-12月期)の▲13.0から1.0ポイント下降している。来期見通しにおいては、6.7ポイント上昇して▲7.3となっている。

売上高DI(前年同期比)については▲10.5となり、前回調査から2.6ポイント下降している。来期見通しにおいては▲5.0となっている。

収益性DI(前年同期比)につ

いては▲17.5となり、前回調査から0.6ポイント上昇している。来期見通しにおいては▲9.5となっている。

業況DI(前年同期比)については▲15.5となり、前回調査から3.0ポイント下降している。来期見通しにおいては▲11.0となっている。

原材料価格DI(前期比)については20.2となり、前回調査から12.6ポイント下降している。

販売価格DI(前期比)については1.5となり、前回調査同様となっている。

資金繰りDI(前期比)につ

ては▲9.5となり、前回調査から3.8ポイント上昇している。

金融機関の態度DI(前期比)については0.0となり、前回調査から2.6ポイント下降して硬化している。





設備投資実施率については24.2%となり、前回調査より0.8ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」の40.0%で、目的別では、「品質向上」が33.3%でトップであった。

設備操業率DI(前期比)については、▲9.1となり、前回調査から4.2ポイント下降している。





紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
20.6	▲7.7	▲7.7	▲10.7
<p>前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも30.8%で0.0、収益性D Iは▲15.4で、両方を合わせたD I平均値は▲7.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは3.0ポイント下降して▲10.7となり「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D I、収益性D Iともに▲28.6となった。また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」とも7.1%で0.0、設備操業率D Iは▲14.3、設備投資実施率は15.4%となった。</p>			





木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲61.4	▲59.1	▲36.4	▲27.3
<p>前年同期比の売上高D I、収益性D Iともに▲36.4で、両方を合わせたD I平均値は▲36.4となり「雨」模様が続いている。来期見通しは9.1ポイント上昇して▲27.3となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D I、収益性D Iともに▲33.3となった。また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」とも8.3%で0.0、設備操業率D Iは22.2、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			

金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲8.9	▲6.7	▲14.1	▲12.9
<p>前年同期比の売上高D Iは▲18.7、収益性D Iは▲9.4で、両方を合わせたD I平均値は▲14.1となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは1.2ポイント上昇し▲12.9となり「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲22.6、収益性D Iは▲33.3となった。また、雇用人員判断D Iは▲14.2、設備操業率D Iは▲4.2、設備投資実施率は25.8%となった。</p>			





窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲17.1	▲1.7	▲25.4	▲18.1
<p>前年同期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲25.7で、両方を合わせたD I平均値は▲25.4となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは7.3ポイント上昇して▲18.1となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは▲9.4となった。また、雇用人員判断D Iは▲3.0、設備操業率D Iは▲9.6、設備投資実施率は34.3%となった。</p>			

プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
30.0	28.6	10.0	▲20.0
<p>前年同期比の売上高D Iは20.0、収益性D Iは「好転」、「悪化」とも0.0%で0.0、両方を合わせたD I平均値は10.0となり唯一「薄日」模様が続いている。来期見通しは、30.0ポイントの大幅下降で▲20.0となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは「好転」、「悪化」とも0.0%で0.0となった。また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは14.3、設備投資実施率は40.0%となった。</p>			

機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲15.2	▲11.7	▲12.8	4.5
<p>前年同期比の売上高D Iは▲4.6、収益性D Iは▲20.9で、両方を合わせたD I平均値は▲12.8となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは17.3ポイント上昇して4.5となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは▲13.5となった。また、雇用人員判断D Iは2.7、設備操業率D Iは17.9、設備投資実施率は34.1%となった。</p>			